

桐生市特別職報酬等審議会会議録

会議名称	桐生市特別職報酬等審議会（第3回）
開催日時	平成29年10月3日（火）15時00分～15時48分
場所	市役所3階特別会議室
出席者	<p>笠井秋夫会長、牛腸章職務代理、大澤豊委員、尾花克彦委員、腰塚有吾委員、小島祐明委員、下山啓二委員、津久井英子委員、横山大志委員</p> <p>山口正夫委員は欠席 （事務局）</p> <p>西場守総務部長、桑原昇人事課長、雨澤浩史人事課長補佐、矢崎正毅主査、青木哲議会事務局長、小林秀夫議事課長 森広一議事課長補佐、菅野麗子主査</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人数	1人
会議の内容 ① 資料説明 ② 審議	<p>事務局が配布資料を説明</p> <p>会長 それでは、前回、途中となっております、市長、副市長、教育長の給料の額について、まず、審議したいと思います。</p> <p>次に、議員報酬、政務活動費の額について、その方向性を審議したいと思います。</p> <p>各委員さん一人一人のご意見をお伺いします。</p> <p>委員 桐生市の人口・財政状況を考慮すると、市長、副市長、教育長の給料を増額することは難しいと思う。職責を考慮して現状維持が妥当であると思います。</p> <p>委員 桐生市の人口を考慮して、特に高いという金額ではないと思います。現在の給料額よりも増額や減額をしなくても良いと思います。</p> <p>委員 私も観点として、人口だと思えます。人口が減少していく中で、現在の給料額の現状維持も難しいのではと思いましたが、桐生は良いまち、地盤が強固で災害を受けにくいまちであり、期待を込めて現状維持が妥当だと思います。</p>

委員	<p>財政状況や人口が減少している点で成果は上がっていない。このことを考慮すれば、良くて現状維持が妥当だと思います。</p>
委員	<p>平成 24 年から現在の給料額であることを考えると、個人的には増額しても良いのではとも思いましたが、人口減少や市の財政状況が良くない中で、増額というのは難しい。</p> <p>職責の重さを考えると減額が相応しいとも言い切れないので、現状維持が妥当だと思います。</p>
委員	<p>桐生市の景気は悪い状況です。人口減少が進む中で、人口が増える、税収が増える要素がないと思います。市長、副市長、教育長の給料は現在の給料額が妥当だと思いますが、いくらかでも減額しても良いのではないかととも思います。</p>
委員	<p>桐生市の人口問題や財政状況を考慮すると、給料額を下げる要素しかないように思うが、特別職であり、職責の重さを考えると、給料額を下げることによって、担い手がいなくなってしまうのでないか。</p> <p>良くて現状維持だと思う。何かしらの条件項目を設定し、達成や改善をした場合には給料額を増額するといったインセンティブを設けられたら良いと思います。</p>
委員	<p>成果主義の要素もあって良いと思うが、人口が増加したからといって、必ずしも税収が増えるとも限らない。目標を設定して、達成したら給料額を増額するといったことも考えられるが、どこに目標を設定するのが非常に難しいと思います。</p> <p>県内他市の特別職の給料額の改定状況を見ても、増額も減額もここ数年、ほとんどない。だからと言って、市の財政状況等を考慮すると増額することも難しいことから、現状維持が妥当だと思います。</p>
委員長	<p>各委員さんから様々な意見が出ました。中には痛烈な意見も出ましたが、大方の意見は現状維持であることから、総合的に判断して、現状維持ということによろしいでしょうか。</p> <p>— 異議なし —</p>

<p>会長</p>	<p>異議もないことから、市長、副市長、教育長の給料については、現状維持という方向で決定したいと思います。</p> <p>次に、議員報酬、政務活動費の額について、その方向性を審議したいと思います。</p> <p>各委員さん一人一人のご意見をお伺いします。</p>
<p>委員</p>	<p>議員活動と私的な活動との線引きするのが難しいと思います。本会議や委員会に出席するだけが議員の活動ではなく、多くの市民の意見を吸収して、議会に反映させることも議員活動であるのであれば、現在の報酬額でも良いのではないかと思います。政務活動費についても、現在の額が妥当だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>報酬については、普通のサラリーマンのようにスライドするものでもないことから、減額しなくても良いと思います。</p> <p>また、政務活動費については、現在の額が必要かどうか判断しかねる。みどり市では、政務活動費を廃止して、報酬を増額するといった流れもある。現在は、必ずしも現地に行かなくてもインターネット等で、情報を得られるといったことを考慮すれば、もう少し減額しても良いのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>桐生市を盛り上げてもらうといった議員の職責を考慮すれば、報酬を減額しない方向、むしろ増額していきたいと思うが、桐生市の財政状況等を考慮すれば、現状維持が妥当だと思います。</p> <p>政務活動費については、現在の額で良いと思います。近隣市と比較してもさほど変わりもない。有効に使用する条件付きで現状維持が妥当と思います。</p>
<p>委員</p>	<p>議員活動が現在の報酬額に値するかどうか判断しかねるが、近隣市と比較して現在の額が妥当だと思います。</p> <p>政務活動費については、きちんとした使い方をしていたり、使い道を公開されているのか精査していただきたい。額については、県内他市と比較した場合、必ずしも高い額ではないが、削減してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>報酬と政務活動費ともに現状維持が妥当だと思います。政務活動費の位置付けですが、分かりにくいので報酬に含めてもらいたいと思います。</p>

委員	<p>報酬額については、特に高い額というわけではないと思います。議員の活動に時間を拘束されるといったことを考慮すれば、妥当な額だと思います。</p> <p>政務活動費については、毎月定額を使用するといったわけではないと思いますが、領収書など適切に使用したことが分かるように、きちんと管理していただければ、金額の面で妥当だと思います。</p>
委員	<p>報酬額が平成24年4月1日から変わっていないことも考慮すれば、妥当だと思います。</p> <p>政務活動費については、議員によって異なると思うが、適正に運用されているかどうかの問題であって、桐生市のために使用しているのであれば、妥当だと思います。</p>
委員	<p>本当に桐生市のことを思って活動をしている人に対して、議員定数を削減してでも報酬を増額したいと思う。ただ、議員定数を削減していることを考慮すれば、現状維持も仕方がないと思います。</p> <p>政務活動費について、公明さが大事であって、市民がチェックできる制度、市民が開示を請求できる制度はあるのですか。</p> <p>— 政務活動費の透明性の確保及び収支報告書の公開制度について事務局説明 —</p>
委員	<p>使いきらなかった政務活動費は、返還されるのですか。</p>
事務局	<p>返還されます。</p>
委員	<p>収支報告書が公開されているのは分かりましたが、内容の資料というのは添付されないのですか。</p>
事務局	<p>視察に行った場合、視察の内容等に関する報告書も提出していただいております。</p>
委員長	<p>全体を通して、他に何か意見のある方はいますか。</p> <p>— 意見なし —</p>

<p>委員長</p> <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員長</p>	<p>様々な意見がある中で、大方の意見は現状維持であることから、議員報酬及び政務活動費についても現状維持ということによろしいでしょうか。</p> <p>— 異議なし —</p> <p>なお、政務活動費について適切に執行すること、明確にすることといった意見が多数出たことから、意見として記載したいと思います。</p> <p>視察等の報告など、今後も有効、適正な運用に努めていただくよう記載願います。</p> <p>そのように進めたいと思います。</p> <p>これで本日の会議を終わります。ご苦労様でした。</p>
<p>次回開催</p>	<p>平成 29 年 10 月 31 日（火）午前 10 時から</p>